

# かけはし

44 期生 No.12  
2023 年 9 月 8 日 (金)

## 平和学習 「沖縄戦」について考える

今年の人権学習では、昨年度に引き続き、唯一の地上戦であり、多くの民間人が犠牲となった「沖縄戦」について学習しました。今年度は、皆さんとほぼ同じ年齢の「ひめゆり学徒隊」についてアニメやインタビューを見て学習し、平和について考えました。皆さんの感想の一部を紹介します。



★私は広島戦争の事についてしか知らなかったけど、沖縄の地上戦の事を学んで、地上戦もとても残酷でおそろしいことだと改めて感じました。アニメを見て、病院を手伝っていた女学生の人たちが、離れたところに避難する時に重傷の患者や大けがをした友達をおいて行かないといけなかったのでもつらかったらうなと思いました。戦争は、町が焼けて、焼け野原になったり、道端に亡くなった人がたくさんいて、本当に悲惨でみんなが傷つくので、戦争はもう 2 度と起きてはならないと思いました。

★今まで一部の動画や写真などしか沖縄戦を見たことがなかったので、「戦争は嫌だな」と軽く見ていましたが、今回のアニメで沖縄戦を見て、前よりもっと「戦争ってこんなにつらいものなのか」と思うようになりました。なぜ、良いことがひとつもないのに人間はこんなに戦うのだろう？仲良くできないのだろう？仲良くしたらいいのにと思いました。今、私たちに出来るのは、沖縄戦のような戦争をこれからの未来もう繰り返さないようにすることだと思いました。

★私は、ひめゆり学徒隊の存在は知っていたけど、今回は詳しく学びました。沖縄戦では住民が 20 万人ほど亡くなり、人の命を奪うおそろしいものである上に、今の私たちの日常はもちろん、生きる希望までを奪ってしまうものだと感じました。実際に学徒隊に入っていた人の話の中で、戦争中死ぬことばかりを考えていたというのを聞いて、戦争をすることで人々に恐怖を与え、生きる自由までも奪ってしまうのだと考えました。私たちは、こうして生きているだけでも、戦場にいた人からすれば、すごく幸せなことだと思うので、感謝し生きていきたいです。

★今回は、沖縄戦について、私たちと同じくらいの子の目線で見ただけで、今までの平和学習より心に残った。水を飲む、ご飯を食べる、家族と会うなど私たちが毎日していて、特別でもないそんな当たり前のことが出来なくなり、こいしくなる。それを見ていて、すごく悲しくなったし、それ以上に今を大切にしないといけないと思いました。当たり前のように過ごしている日常が当然と思ってはいけないと思いました。生きられないと確信した時、少しでも生きようとするか、誇りを傷つけないようにするか、そんな選択肢を私と同じくらいの子たちに迫らせた戦争はおそろしいと思った。

★私は、アニメやインタビューを見て、戦争で戦って亡くなったり、追い込まれ、自ら命を絶った人がたくさんいることを知った。人の命がなくなることは重大なことだけど、今の私たちは、「死ぬ」や「きしょい」などの言葉を軽々しく使っている。もし、言っている人はノリのつもりでも相手がどう受け取るか分からないし、ノリでも言っただけでいいと思わないと思う。だから、自分が言わないのもそうだけど、もし周りで言っている人がいたら、注意したりしたい。

★戦争中の友達と交わす「またね」と私たちが普段友達と交わす「またね」は重みが全然違うなと思いました。理由として、いつ爆弾を落とされるか分からない状況と今の平和な日本の状況は全然違うからです。また、島袋さんの言っていた「国は守れても武器で国民は守れない」という言葉はひめゆり学徒隊に入り、戦争を体験したから言えるなと思いました。武器で国の地位は守れても亡くなった国民は戻ってこないし、生き残った国民の心には強く戦争の恐ろしさや悲しみが残るから、国民は武器では守れないと思いました。



今現在も、ウクライナなど世界のいくつかの地域では戦争や紛争が起きていて、幼い子供も含む多くの人の命や生活が奪われています。戦争は過去の事ではなく、今、そして未来の私たちの問題であること、決して許してはいけないということを心にとめて、世の中の動きにしっかりと目を向け、「平和」について考え続けて欲しいと思います。